

## 士師記

オテニエル、エホデ、シャルガム、デボラ、ギデオン、アビメレク、トラ、ヤイル、エフタ、イブザン、エロン、アブドン、サムソン

小さいものが用いられる

左利きのエフデ = (3 : )

女性であるデボラ = (4 : ) (9 : 5 3)

一番小さい部族の見栄えがしないギデオン = (6 : )

サムソンが使ったあごの骨 (1 5 : 1 4 -)

## 士

1:2 すると、【主】は言われた。「ユダが上って行くべきである。見よ、わたしはその地を彼の手に渡した。」

ユダ = たたえるの意味、(士 20 : 1 8) ユダが最初、(2 歴 20 : 2 1) 賛美が先頭に戦った

1:19 【主】がユダとともにおられたので、ユダは山地を占領した。しかし、平地の住民は鉄の戦車を持っていたので、ユダは彼らを追い払えなかった。

1:20 モーセが約束したとおり、ヘブロンはカレブに与えられ、カレブはそこからアナクの三人の息子を追い払った。

@カレブは追い払った

1:21 エルサレムに住んでいるエブス人に関しては、ベニヤミン族がこれを追い払わなかったので、エブス人は今日までベニヤミン族とともにエルサレムに住んでいる。

1:31 アシエルはアッコの住民やシドンの住民、またアフラブ、アクジブ、へ

ルバ、アフィク、レホブの住民を**追い払わなかった**。

1:32 それで、アシェル人は、その土地に住むカナン人のただ中に住んだ。カナン人を**追い払わなかった**のである。

2:11 すると、イスラエルの子らは【主】の目に悪であることを行い、もろもろの**バアル**に仕えた。

バアル=◀ 1168. Ba'al (בַּעַל)(バアル)80 回▶

@◀ 1167. baal (בַּעַל)(バアル)84 回▶主人、オーナー、主 @同じ母音

@◀ 1166. baal (בַּעַל)(バアル)15 回▶結婚する、治める

@現代ヘブライ語(בַּעַל)バアル : 夫

2:12 彼らは、エジプトの地から自分たちを導き出した父祖の神、【主】を捨て、ほかの神々、すなわち彼らの周りにいるもろもろの民の神々に従い、それらを**拝んで**、【主】の怒りを引き起こした。

2:17 ところが、彼らはそのさばきつかさにも聞き従わず、ほかの神々を慕って淫行を行い、それらを**拝んだ**。彼らの先祖が【主】の命令に聞き従って歩んだ道から早くも外れて、先祖たちようには行わなかった。

2:19 しかし、さばきつかさが死ぬと、彼らは元に戻って先祖たちよりもいっそう墮落し、ほかの神々に従い、それらに仕え、それらを**拝んだ**。彼らはその行いや、頑なな生き方から離れなかった。

\*拝む=シャハー◀ 7812. shachah (שָׁחָה) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS)(KJV)(INT) \*bow (改 4)拝む

2:7 ヨシュアがいた間、また、【主】がイスラエルのために行われたすべての大いなるわざを見て、ヨシュアより長生きした長老たちがいた間、民は【主】に仕えた。

2:8 【主】のしもべ、ヌンの子ヨシュアは百十歳で死んだ。

2:9 人々は彼をガアシユ山の北、エフライムの山地にある、彼の相続地の領域にあるティムナテ・ヘレスに葬った。

2:10 その世代の者たちもみな、その先祖たちのもとに集められた。そして彼らの後に、【主】を知らず、主がイスラエルのために行われたわざも知らない、別の世代が起こった。

2:11 すると、イスラエルの子らは【主】の目に悪であることを行い、もろもろのバアルに仕えた。

2:17 ところが、彼らはそのさばきつかさにも聞き従わず、ほかの神々を慕って淫行を行い、それらを拝んだ。彼らの先祖が【主】の命令に聞き従って歩んだ道から早くも外れて、先祖たちのようには行わなかった。

2:22 これは、先祖たちが守ったように、彼らも【主】の道を守って歩むかど  
うか、これらの国民によってイスラエルを試みるためである。」

3:1 次が、【主】が残しておかれた異邦の民である。主がそうされたのは、カナンでの戦いを全く知らないすべてのイスラエルを試みるためであり、

3:2 ただ、イスラエルの次世代の者、特にまだ戦いを知らない者たちに、戦いを教え、知らせるためであった。

@ヨシュア 11:20 彼らの心を頑なにし、イスラエルに立ち向かって

戦わせたのは、【主】から出たことであつた。それは、彼らを容赦なく聖絶するため、【主】がモーセに命じられたとおりに彼らを根絶やしにするためであつた。

@イザヤ 16:4 すべてのものを、【主】はご自分の目的のために造り、悪しき者さえ、わざわいの日のために造られた。

@イザヤ 45:7 わたしは光を造り出し、闇を創造し、平和をつくり、わざわいを創造する。わたしは【主】、これらすべてを行う者。

@箴 16:4 すべてのものを、【主】はご自分の目的のために造り、悪しき者さえ、わざわいの日のために造られた。

@申 2:30 しかし、ヘシュボンの王シホンは、私たちがどうしても通らせようとはしなかつた。それは今日見るとおり、彼をあなたの手へ渡すために、あなたの神、【主】が彼の心を頑なにし、彼を強気にされたからである。

3 : 9 ①オテニエル

3 : 15 ②エフデ

3 : 31 ③シャムガル

4 : 4 ④デボラ

士 4:21 だが、ヘベルの妻ヤエルは天幕の杭を取ると、槌を手にしてそつと彼に近づき、そのこめかみに杭を打ち込んで地に突き刺した。彼は疲れて熟睡していたのである。こうして彼は死んだ。

5:2 「イスラエルでかしらたちが先頭に立ち、民が進んで身<sup>を</sup>献<sup>げ</sup>る<sup>時</sup>、【主】をほめたたえよ。

身を献げるとき = ◀ 5068.(נדב) nadab 18 回 ▶ =Definition: to incite, impel ささげる

=主に「動かす、ささげる、自由意志で、喜んで、進んでささげる」などと訳される

=(改2) 髪の毛を乱す時、《口》主に対して誓いをなす時  
このように訳している訳はほかにない

ほめたたえよ=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

(NAS)bless (KJV)praise (INT)bless (改4)ほめたたえる

5:3 聞け、王たち。耳を傾けよ、君主たち。私、この私は【主】に向かって歌う。イスラエルの神、【主】にほめ歌を歌う。

歌う = ◀ 7891. shir ▶

ほめ歌を歌う = ◀ 2167. zamar (זָמַר)46回▶ 賛美を歌う、to make music (in praise of God)

士 5:8 新しい神々が選ばれたとき、そのとき、戦いは門まで及んでいたが、イスラエルの四万人のうちに、盾と槍が見られただろうか。

盾と槍が見られただろうか = 充分戦力が無かった

5:9 私の心はイスラエルの指導者たちに、民のうちの進んで身を献げる者たちに向かう。【主】をほめたたえよ。

ほめたたえよ=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316回(英)の内 74回ほめる(改4)。

(NAS)bless (KJV)bless (INT)bless (改4)ほめたたえる

5:20 天から、もろもろの星が下って来て戦った。その軌道から離れて、セラと戦った。

もろもろの星＝ 御使い

5:21 キション川は彼らを押し流した。昔からの川、キション川が。わがたましいよ、力強く進め。

彼らを＝ 落ちた御使い

5:24 女の中で最も祝福されるのはヤエル、ケニ人へベルの妻。天幕に住む女の中で最も祝福されている。

祝福する＝バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

5:27 彼女の足もとに彼は膝をつき、倒れ、横たわった。彼女の足もとに彼は膝をつき、倒れた。膝をついた場所で、倒れて滅びた。

膝をつき\* 3＝カラ◀ 3766.(כָּרַע) kara 36 回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS)(KJV)(INT) bowed (改 4) \*膝をつく

6:2 ミディアン人の勢力がイスラエルに対して強くなったので、イスラエル人はミディアン人を避けて、山々にある洞窟や洞穴や要害を自分たちのものとした。

洞窟や洞穴 =隠れクリスチャン

6:10 わたしはあなたがたに言った。『わたしが【主】、あなたがたの神である。あなたがたが住んでいる地のアモリ人の神々を恐れてはならない』と。ところ

が、あなたがたはわたしの声に聞き従わなかった。」

恐れてはならない＝（別訳・改2）（改4）注釈） 拝んではならない。（原語からの根拠は不明）

恐れる＝◀ 3372. yare' ▶Definition: to fear これが拝むとされる根拠は不明 BHub と Bletter で調査済

@恐れることは偶像礼拝につながる

黙示録 21:7 勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

21:8 しかし、臆病な者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、淫らなことを行う者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者たちが受ける分は、火と硫黄の燃える池の中にある。これが第二の死である。」

6:12 【主】の使いが彼に現れて言った。「力ある勇士よ、【主】があなたとともにおられる。」

6:13 ギデオンは御使いに言った。「ああ、主よ。」もし【主】が私たちとともにおられるなら、なぜこれらすべてのことが、私たちに起こったのですか。『【主】は私たちをエジプトから上らせたではないか』と言って、先祖が伝えたあの驚くべきみわざはみな、どこにあるのですか。今、【主】は私たちを捨てて、ミディアン人の手に渡されたのです。」

⑤ギデオン

@御使いを見たが、主に語りかけた。

2サムエル 24:17 ダビデは、民を打っている御使いを見たとき、【主】に言った。「ご覧ください。この私に罪があるのです。私が悪いこと

をしたのです。この羊の群れがいったい何をしたでしょうか。どうか、あなたの御手が、私と私の父の家に下りますように。」

6:14 すると、【主】は彼の方を向いて言われた。「行け、あなたのその力で。あなたはイスラエルをミディアン人の手から救うのだ。わたしがあなたを遣わすのではないか。」

6:15 ギデオンは言った。「ああ、主よ。どうすれば私はイスラエルを救えるでしょうか。ご存じのように、私の氏族はマナセの中で最も弱く、そして私は父の家で一番若いのです。」

6:19 ギデオンは行って、子やぎ一匹を調理し、粉一エパで種なしパンを作った。そして、その肉をかごに入れ、また肉汁を壺に入れ、櫛の木の下にいる方のところに持って来て差し出した。

@信仰によって神の言葉を信じたことを行動によってあらわした。

6:24 ギデオンはそこに【主】のために祭壇を築いて、これをアドナイ・シャロムと名づけた。これは今日まで、アビエゼル人のオフラに残っている。

@ 「主は平安」

6:25 その夜、【主】はギデオンに言われた。「あなたの父の若い雄牛で、七歳の第二の雄牛を取り、あなたの父が持っているバアルの祭壇を壊し、そのそばにあるアシェラ像を切り倒せ。

バアル=◀ 1168. Ba'al (בַּאֵל)(バアル)80 回▶

@ ◀ 1167. baal (בַּאֵל)(バアル)84 回▶ 主人、オーナー、主 @同じ母音

@ ◀ 1166. baal (בַּאֵל)(バアル)15 回▶ 結婚する、治める



@現代ヘブライ語(לשון חז"ל)バアル

6:26 あなたの神、【主】のために、その砦の頂に石を積んで祭壇を築け。あの第二の雄牛を取り、切り倒したアシェラ像の木で全焼のささげ物を献げよ。」

@戦いの前に偶像を取り除く

6:27 そこで、ギデオンは自分のしもべの中から十人を引き連れて、【主】が言われたとおりに行った。しかし、彼は父の家の者や、町の人々を恐れたので、昼間はそれをせず、夜に行った。

6:31 すると、ヨアシュは自分に向かって来たすべての者に言った。「あなたがたは、バアルのために争おうというのか。あなたがたは、それを救おうとするのか。バアルのために争う者は、朝までに殺される。もしバアルが神であるなら、自分の祭壇が打ち壊されたのだから、自分で争えばよいのだ。」

@もうバアル(偶像)の力が弱まっているので父は何も言わなかった。

6:33 ミディアン人やアマレク人、また東方の人々はみな連合してヨルダン川を渡り、イズレエルの平野に陣を敷いた。

イズレエル=◀ 3157. Yizreel (יִזְרְעֵל) (イエズエエル)36回▶地名、人名、(神は種をまくの意味)

◀ 2232. zara (זָרָה) 56回▶(V)種をまく+◀ 410. el (אֵל) 248回▶ (N) 神

平野=◀ 6010. Emeq(עֵמֶק) 69回▶谷(改 2)、平野(改 4)

6:34 【主】の霊がギデオンをおおったので、彼が角笛を吹き鳴らすと、アビエゼル人が集まって来て、彼に従った。

@アビエゼル人=マナセ族

6:35 ギデオンはマナセの全域に使者を遣わしたので、彼らもまた、呼び集められて彼に従った。また彼は、アシェル、ゼブルン、そしてナフタリに使者を遣わし、彼らも上って来て合流した。

@マナセ族の中に良い反応を示す人がいたのをみてとったギデオンはマナセ全域に呼びかけた。

@羊の毛 6:37-6:40

6:37 ご覧ください。私は刈り取った一匹分の羊の毛を打ち場に置きます。もしその羊の毛だけに露が降りていて、土全体が乾いていたら、あなたが言われたとおり、私の手によって、あなたがイスラエルをお救いになると私に分かります。」

7:5 そこでギデオンは兵を連れて、水辺に下って行った。【主】はギデオンに言われた。「犬がなめるように、舌で水をなめる者は残らず別にせよ。また、飲むために膝をつく者もすべてそうせよ。」

ひぎをついて=カラ◀ 3766.(כרע) kara 36回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(KJV)boweth down upon his knees (INT) down upon his knees (改4)ひぎをついて

7:6 すると、手で口に水を運んですすった者の数が三百人であった。残りの兵はみな、膝をついて水を飲んだ。

手で口に水を運んですすった者=(改2) 口に手を当てて水をなめた者

ひざについて=カラ◀ 3766.( ヽㄥㄥ) kara 36回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく

(NAS)(KJV)(INT)\*bow (改4)ひざについて

7:8 そこで三百人の者は、兵の食糧と角笛を手を取った。こうして、ギデオンはイスラエル人をみな、それぞれ自分の天幕に送り返し、三百人の者だけを引きとどめた。ミディアン人の陣営は、彼から見て下の方の平地にあった。

7:12 ミディアン人やアマレク人、またすべての東方の民が、いなごのように大勢、平地に伏していた。彼らのらくだは、海辺の砂のように多くて数えきれなかった。

@大勢= =13万5千人(8:10)

7:15 ギデオンはこの夢の話と解釈を聞いたとき、主を礼拝し、イスラエルの陣営に戻って言った。「立て。【主】はミディアン人の陣営をあなたがたの手に渡された。」

礼拝し=シャハー◀ 7812. shachah (נחש) (172回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS) bowed in worship (KJV) worshiped (INT)bowed (改4)礼拝し ★

7:16 彼は三百人を三隊に分け、全員の手に角笛と空の壺を持たせ、その壺の中にたいまつを入れさせて、

角笛=賛美、から壺=われわれ、たいまつ=聖霊、

自己を砕いた時に聖霊が力を発揮

7:20 三隊の者が角笛を吹き鳴らして、壺を打ち砕き、左手にたいまつを、右手に吹き鳴らす角笛を固く握って「【主】のため、ギデオンのための剣」と叫んだ。

【主】のため、ギデオンのための剣 = (改2) 「主の剣、ギデオンの剣だ」

主の剣=神の剣 ギデオンの剣=霊的リーダー (使徒的)

の剣

7:25 彼らはミディアン人の二人の首長 **オレブ** と **ゼエブ** を捕らえ、オレブをオレブの岩で殺し、ゼエブをゼエブのぶどうの踏み場で殺した。こうしてエフライム人はミディアン人を追撃したが、オレブとゼエブの首は、ヨルダン川の反対側にいたギデオンのところに持って行った。

オレブ = ◀ 6159. Oreb(עֹרֵב) 7回 ▶ 人名、(カラスを意味する)

◀ 6153. Ereb(עָרַב) 134回 ▶ (N)夕暮れ

◀ 6154. Ereb(עָרַב) 15回 ▶ (N)混ぜたもの

◀ 6155. Arab(עֲרָב) 5回 ▶ 柳(詩 137:2)

◀ 6156. Areb(עָרַב) 1回 ▶ (A)心地よい

ゼエブ = ◀ 2062. Zeeb(זֵעֵב) 6回 ▶ (N)人名、 (オオカミの意味)

=狼の意味 (分裂、批判、滅ぼす者)

8:21 そこで、ゼバブとツアルムナは言った。「あなたが立って、私たちに **討ちかかり** なさい。人の勇氣はそれぞれ違うのだから。」ギデオンは立って、ゼバブとツアルムナを殺し、彼らのらくだの首に掛けてあった三日月形の飾りを取った。

討ちかかる = ◀ 6293.( פגא ) paga 46 回 ▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1 列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1 サム 22:17)。打ちかかる(1 サム 22:18) (2 サム 1:15)。討ち取る (1 列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ 36:25)。

8:23 しかしギデオンは彼らに言った。「私はあなたがたを 治めません。また、私の息子も治めません。【主】があなたがたを治められます。」

9:6 シェケムのすべての住民とベテ・ミロのすべての人々は集まり、行って、シェケムにある石柱のそばの檜の木の下で、アビメレクを王とした。

9:8-15

われわれがリーダーシップを取らなかった結果

9:14 そこで、すべての木が 茨 に言った。『あなたが来て、私たちの王となってください。』

茨 = ◀ 6086.( צץ ) ets 329 回 ▶ 発音(ates) = 木 (木を表す普通の単

語)

創世記 1:12 地は植物を、すなわち、種のできる草を種類ごとに、また種の入った実を結ぶ木を種類ごとに生じさせた。神はそれを良しと見られた。

創世記 2:9 神である【主】は、その土地に、見るからに好ましく、食べるのに良いすべての木を、そして、園の中央にいのちの木を、また善悪の知識の木を生えさせた。

10:1 アビメレクの後、イスラエルを救うために、イッサカル人、ドドの子プロの息子トラが立ち上がった。彼はエフライムの山地にあるシャミルに住んでいた。

10:3 彼の後にギルアデ人ヤイルが立ち上がり、二十二年間イスラエルをさばいた。

10:13 しかし、あなたがたはわたしを捨てて、ほかの神々に仕えた。だから、わたしはこれ以上あなたがたを救わない。

10:14 行け。そして、あなたがたが選んだ神々に叫べ。あなたがたの苦しみの時には、彼らが救ってくれるだろう。」

11:9 エフタはギルアデの長老たちに言った。「もしあなたがたが私を連れ戻してアンモン人と戦わせ、【主】が彼らを私に渡してくださったなら、私はあなたがたのかしらとなろう。」

11:30 エフタは【主】に誓願を立てて言った。「もしあなたが確かにアンモン人を私の手に与えてくださるなら、

11:31 私がアンモン人のところから無事に帰って来たとき、私の家の戸口から私を迎えに出て来る者を【主】のものといたします。私はその人を全焼のささげ物として献げます。」

@まちがった誓い

11:35 エフタは彼女を見るや、自分の衣を引き裂いて言った。「ああ、私の娘よ、おまえは本当に私を**打ちのめして**しまった。おまえは私を苦しめる者となった。私は【主】に向かって口を開いたのだから、もう取り消すことはできないのだ。」

打ちのめして=カラ◀ 3766.( ヽㄥ) kara 36 回▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく ★

(NAS)(KJV) brought me very low (INT) brought very (改 4)打ちのめして  
ここではカラが 2 回続けて書かれている (強調か?) (haḵ-rê-a' hiḵ-ra'ti-nî.)

1 1 : 3 4 - 3 7

- 1 2 : 8            ⑩イブツァン
- 1 2 : 1 0          ⑪エロン
- 1 2 : 1 3          ⑫アブドン
- 1 3 : 3            ⑬サムソン      男の子=サムソン

13:5 見よ。あなたは身ごもって男の子を産む。その子の頭にかみそりを当ててはならない。その子は胎内にいるときから、神に献げられたナジル人だから。彼はイスラエルをペリシテ人の手から救い始める。」

13:18 【主】の使いは彼に言った。「なぜ、あなたはそれを聞くのか。**わたし**の名は**不思議**という。」

13:24 この女は男の子を産み、その子をサムソンと名づけた。その子は大きくなり、【主】は彼を**祝福された**。

祝福する=バラク◀ 1288. (ㄥㄥ)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74

回ほめる(改 4)。

14:4 彼の父と母は、それが【主】によることだとは知らなかった。主は、ペリシテ人と事を起こす機会を求めておられたのである。そのころ、ペリシテ人がイスラエルを支配していた。

@ 一見御心でないことでも、主が赦される場合がある

14:15 七日目になって、彼らはサムソンの妻に言った。「おまえの夫を口説いて、あの謎をわれわれに明かしなさい。そうしないと、火でおまえとおまえの父の家を焼き払ってしまうぞ。おまえたちはわれわれからはぎ取ろうとして招待したのか。そうではないだろう。」

口説いて = ◀ 6601. pathah 28 回 ▶ 広くする、惑わす、誘惑する、だます、

広げる(Ge9:27)ヤペテの天幕、

Ge9:27 神がヤフェテを広げ、彼がセムの天幕に住むようになれ。カナンは彼らのしもべとなるように。」

だます(申 11:16) be deceived, 欺かれて、だまされて (NKJ)(NAS) の場合、(ただし(改 4)は誘惑する)。

申 11:16 気をつけなさい。あなたがたの心が惑わされ横道に外れて、ほかの神々に仕え、それを拝むことのないように。

口説く(士師 14:15)、

士師記 14:15 七日目になって、彼らはサムソンの妻に言った。「おまえの夫を口説いて、あの謎をわれわれに明かしなさい。そうしないと、火でおまえとおまえの父の家を焼き払ってしまうぞ。おまえたちはわれわれからはぎ取ろうとして招待したのか。そうではないだろう。」



浅はかなもの(ヨブ 5:2)、

ヨブ 5:2 苛立ちは愚か者を殺し、ねたみは浅はかな者を死なせる。

唇を開くもの(箴言 20:19)、

箴言 20:19 人を中傷して回る者は秘密を漏らす。唇を開く者とは交わるな。

説得する(箴言 25:15)、

箴 25:15 忍耐強く説けば、首領も納得する。柔らかな舌は骨を砕く。

惑わす(エレ 20:7)、

エレミヤ 20:7 「【主】よ。あなたが私を惑わしたので、私はあなたに惑わされました。あなたは私をつかみ、思いのままにされました。私は一日中笑いものとなり、皆が私を嘲ります。

誘う(いざなう)(ホセア 2:14)(良い意味として)

ホセア 2:14 それゆえ、見よ、わたしは彼女を誘い、荒野に連れて行って優しく彼女に語ろう。

14:18 町の人々は、七日目の日が沈む前にサムソンに言った。「蜂蜜よりも甘いものは何か。雄獅子よりも強いものは何か。」すると、サムソンは彼らに言った。「もし、私の雌の子牛で耕さなかったなら、あなたがたは私の謎を解けなかっただろうに。」

@蜜の歌

15:12 彼らはサムソンに言った。「われわれはおまえを縛って、ペリシテ人の手に渡すために下って来たのだ。」サムソンは言った。「あなたがたは私に討ちかからないと誓いなさい。」

討ちかかる = ◀ 6293.( פגא ) paga 46 回 ▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす。(現)ヒット

頼む(Ge23:8)。着く (Ge28:11)。現れる(Ge32:1)。打つ(出 5:3) (1 列 2:34)。会う(出 5:20)(イザヤ 64:5)。(アモス 5:19)。出会う(Ex23:4)。達する(ヨシュア 16:7、17:10、19:11)。

打ちかかる(士師 8:21、15:12)。仕向ける(ルツ 1:16)。いじめる(ルツ 2:22)。

殺す(1 サム 22:17)。打ちかかる(1 サム 22:18) (2 サム 1:15)。討ち取る (1 列 2:25、2:29、2:31、2:46)。

祈り願う(ヨブ 21:15)。撃つ(ヨブ 36:32)。容赦する(イザヤ 47:3)。負わせる(イザヤ 53:6)。

とりなす(イザヤ 53:12)。(エレミヤ 7:16、15:11、27:18)。懇願する(エレミヤ 36:25)。

15:14 サムソンがレヒに来たとき、ペリシテ人は大声をあげて彼に近づいた。すると、【主】の霊が激しく彼の上を下り、彼の腕に掛かっていた綱は火のついた亜麻糸のようになって、その縄目が手から解け落ちた。

15:16 サムソンは言った。「ろばのあご骨で、山と積み上げた。ろばのあご骨で、千人を打ち殺した。」

◀ 3895.( לחי ) lechi 21 回 ▶ あご、頬、あごの骨

骨の歌                    @地に埋もれていて何の役にも立たないはずの骨を用いて戦った

主の手にあれば誰でも用いられる

15:17 こう言い終わると、彼はそのあご骨を投げ捨てた。彼はその場所を、

ラマテ・レヒと名づけた。

ラマテ・レヒ = ◀ 7437. (לחי רמת) Ramath Lechiy 1 回 ▶

16:4 その後、サムソンは、ソレクの谷にいる女を愛した。彼女の名はデリラ  
と叫んだ。

RV) enamoro

愛した = ◀ 157. (אהב) aheb 209 回 ▶ 愛する

16:19 彼女は膝の上でサムソンを眠らせ、人呼んで彼の髪の毛七房を剃り落  
とさせた。彼女は彼を苦しめ始め、彼の力は彼を離れた。

16:20 彼女が「サムソン、ペリシテ人があなたを襲って来ます」と叫んだとき、  
彼は眠りから覚めて、「今度も前のように出て行って、からだをひとゆすりし  
てやろう」と叫んだ。彼は、【主】が自分から離れられたことを知らなかった。

士 16:24 民はサムソンを見たとき、自分たちの神をほめたたえて叫んだ。  
「われわれの神は、われわれの敵を、われわれの手に渡して下さった。この  
国を荒らして、われわれ大勢を殺した者を。」

ほめたたえて = ハラル ◀ 1984. halal (הלל) 165 回 ▶ もともとの意味は「輝く」  
(訳出では「賛美、誇る、気が狂う」)

(NAS): praised their god, (KJV): praised their god: (改) ほめたたえて ☆

士 17:2 彼は母に叫んだ。「銀千百枚が盗まれたとき、あなたはのろいの誓い  
をされ、私の耳にもそのことを言われました。実は、その銀は私が持っていま  
す。私がそれを盗んだのです。」すると母は叫んだ。「【主】が私の息子を祝  
福されますように。」

祝福する = バラク ◀ 1288. (ברך) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74

## 回ほめる(改4)

士 17:6 そのころ、イスラエルには王がなく、それぞれが自分の目に良いと見えることを行っていた。

18:25 ダン族はミカに言った。「あなたの声私たちの中で聞こえないようにしなさい。そうしないと、気の荒い連中があなたがたに打ちかかり、あなたは、自分のいのちも、家族のいのちも失うだろう。」

打ちかかり = ◀ 6293.(פג) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす (現)ヒット

18:30 さて、ダン族は自分たちのために彫像を立てた。モーゼの子ゲルシヨムの子ヨナタンとその子孫が、その地の捕囚のときまで、ダン部族の祭司であった。

### @モーゼの子孫の墮落

。

19 : 1 - 道徳的な混乱

自己中心的な人達の記録

- 1、そばめをいたわらない人 (19 : 2)
- 2、相手の都合を考えず無理に引き止める人 (19 : 2-9)
- 3、旅人をもてなさない町 (19 : 15)
- 4、よこしまな者達 (19 : 22)
- 5、家族の事より、男性客だけが守られればよいと考える人 (19 : 24)
- 6、そばめを犠牲にする (19 : 25)
- 7、そばめにたいする愛情の欠如
- 8、いつわりの報告 no「ギブアのもの達」 but「よこしまなものたち」 (20 : 5)

- 9、真相を確かめず感情的に行動する人々（20：8）
- 10、悪い者をかばうベニヤミン（20：13）
- 11、転機（20：26）
- 12、人間的なアイデアによる問題解決（21：10）
- 13、間違いを正す為に間違いの深みに入る（21：19）

19:29 彼は自分の家に着くと、刀を取り、自分の側女をつかんで、その肢体を十二の部分に切り分け、イスラエルの全土に送った。

19:30 それを見た者はみな、「イスラエルの子らがエジプトの地から上って来た日から今日まで、このようなことは起こったこともなければ、見たこともない。このことをよく考え、相談し、意見を述べよ」と言った。

21：1

**政治的混乱**

21:10 会衆は、一万二千人の勇士をそこに送って命じた。「行って、ヤベシュ・ギルアデの住民を剣の刃で討て。女も子どもも。

@人間的なアイデアによる問題解決

21:22 もし、女たちの父か兄弟が私たちに苦情を言いに来たら、私たちはこう言います。『私たちゆえに、彼らをあわれんでやってください。戦争のときに、私たちは彼ら一人ひとりに妻を取らせなかったし、あなたがたも娘を彼らに与えませんでした。もし与えていたなら、今ごろ、あなたがたは責めある者とされていたでしょう』と。」